



# 『東北圏だより』



## 地方港湾審議会を開催（相馬港・小名浜港の港湾計画を変更しました）

福島県

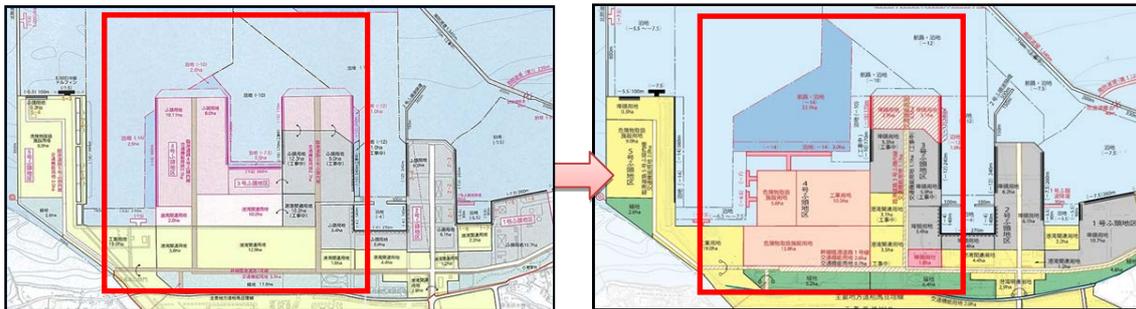
平成25年10月28日に、地方港湾審議会を開催しました。地方港湾審議会では、相馬港におけるLNG受入基地の建設計画など、進出企業の立地計画への対応と、小名浜港周辺の地域産業の国際競争力のさらなる強化を図るために、相馬港の港湾計画の一部変更と小名浜港の港湾計画の軽易な変更を審議し、変更内容について承認されました。



相馬港・小名浜港それぞれの紹介と合わせて、今回の変更内容についてご説明します。

相馬港は、浜通り北部の新地町及び相馬市に位置し、地元相双地域を始め、県北地域等を背後地とする広域流通港湾としての役割を担っています。昭和56年には全国初のエネルギー港湾の指定を受けて整備が進められ、現在は相馬共同火力発電(株)新地発電所の燃料である石炭の輸入を中心に取り扱っています。

相馬港の今回の変更内容は、民間企業が検討しているLNG（液化天然ガス）受入基地の建設計画など、進出企業の立地計画に対応するため変更するもので、4号ふ頭地区に危険物取扱施設（運搬船の係留施設）の計画等を位置づけました。今後は、この港湾計画にしたがって整備が進められていくことになります。これにより、関連する企業の進出も見込まれ地元の雇用創出により、被災地の地域経済活性化、活力あるまちづくりに大きく寄与することが期待されています。



▲相馬港港湾計画図（右が今回変更した計画図）

小名浜港は本県南端のいわき市に位置し、本県及び南東北の物流拠点として発展しています。公共埠頭での石炭の取扱貨物量は全国1位となっており、平成23年5月には国際バルク戦略港湾に選定されています。また、交流拠点として1・2号ふ頭地区のアクアマリンパークは多くの観光客が訪れる観光スポットとなっています。

小名浜港の変更内容は、石炭等のバルク貨物を取り扱う埠頭機能の高度化により地域産業の国際競争力を図るため、5・6号ふ頭、7号ふ頭、東港地区において、効率的な運営を特に促進する区域（臨海部産業エリア）を位置づけました。これにより、エリア指定を受けた区域においては、民間事業者による効率的な埠頭運営が可能となり、国際バルク戦略港湾としての機能がより一層高まることが期待されます。



▲小名浜港臨海部産業エリア指定箇所の現状

本県では東日本大震災の復旧の真っ只中ではありますが、こうした、未来につながる復興の話題も港から発信されようとしています。このような動きを追い風に関係機関と協力しながら、さらに復旧・復興の加速化に尽力していきたいと考えております。

## 第7回東北発コンパクトシティ推進研究会を開催

東北圏の地方都市におけるコンパクトシティの考え方や、その実現に向けた取組手法について検討する「東北発コンパクトシティ推進研究会」（主催：東北地方整備局、後援：日本都市計画学会東北支部）を、10月2～3日に、青森県八戸市・十和田市で開催しました。

本研究会は、各都市がコンパクトで持続可能な都市づくりを推進するため開催しているもので、当研究会で検討している「東北発コンパクトシティ」は、広域連携プロジェクトのうち「都市と農山漁村の連携・共生による持続可能な地域構造形成プロジェクト」の主要施策として位置付けられています。

第7回目となる今回は、①中心市街地の魅力向上、②市街地の円滑な移動の確保の2つのテーマを掲げ、学識経験者や自治体担当者など約90名の方々の参画を得て開催しました。

初日は、弘前大学大学院教授北原啓司氏より、「中心市街地の「空間」を「場所」に変えるコンパクトシティ戦略」と題して基調講演をいただいた他、2つのテーマに関する取組として、八戸市、八戸ポータルミュージアムはっち、

十和田市から事例紹介をしていただきました。その後、中心市街地の魅力向上や市街地の円滑な移動の確保について、全体で討議を行い、八戸ポータルミュージアムはっちの現地視察を行いました。

2日目は、十和田市における中心市街地活性化の取組箇所として、十和田市現代美術館、アート広場、官庁街通り、ArtStationTOWADAを見学しました。

↓研究会の詳細については、こちらをご覧ください。

<http://www.thr.mlit.go.jp/compact-city/>



▲推進研究会開催状況



▲現地見学（十和田市 現代美術館）

## 編集後記

東北楽天ゴールデンイーグルスの日本シリーズ優勝に伴う経済効果について「230～270億円」（例年プラス90～130億円）と様々な試算がされているようです。何れにしても東北経済に与える効果は相当なものです。来年の話をするとなんとか笑うと言いますが、今年以上に活躍してもらいたいものです。

『東北圏だより』に掲載する広域地方計画に関連する情報をお寄せ下さい。また、『東北圏だより』へのご質問、ご意見、ご要望等についても結構です。お気軽に次のアドレスまでメールでお寄せ下さい。

メールアドレス：kou-suishin2@thr.mlit.go.jp